



健やか親子21

## 「健やか親子21（第2次）」と母子保健情報の利活用についての研修

「健やか親子21（第2次）」の趣旨を踏まえ、全国で一貫した質の高い母子保健サービスを展開するために、各地方自治体には母子保健計画等目標設定や事業の評価の仕組み、乳幼児健診等で把握した母子保健情報の利活用等が求められています。

そこで本研修は、都道府県及び市町村の母子保健行政担当者が母子保健計画や母子保健情報の利活用の目的や考え方、PDCA サイクルの進め方を理解することで、今後の母子保健事業に活かすことを目的に開催いたします。

《開催日・会場》 **受講料:無料** **定員:各 100 名**(定員を超える申し込みがあった場合は調整させていただくことがあります)

7月30日(月)【福岡】リファレンス駅東ビル 2階 Y-1(福岡市博多区)  
 8月24日(金)【東京】ビジョンセンター田町 4階 401(東京都港区)  
 9月14日(金)【大阪】エル・おおさか 南館 10階 南1023(大阪市中央区)

《受講対象者》都道府県、市区町村の母子保健行政担当者

※対象者以外はお断りさせていただきます。あらかじめ御了承ください。

※受講される方には事前課題のご提出をお願いしております(任意)。詳細は受講決定メールにて御確認ください。

《到達目標》

- ・「健やか親子21(第2次)」の趣旨を踏まえ、母子保健情報を利活用することの目的や考え方について理解する。
- ・母子保健事業のPDCAサイクルの進め方を理解し、自分の地域の課題の明確化や評価に活かすことができる。
- ・都道府県や市区町村それぞれの役割を理解することができる。

《プログラム》(受付 9:40~9:55) 9:55~10:00 開会・事務連絡

10:00~10:30 **講義① 「母子保健事業と情報の利活用」**

- ・「健やか親子21(第2次)」を踏まえた母子保健情報の利活用について
- ・都道府県と市区町村それぞれの役割、情報の共有や連携のポイント

10:30~11:00 **講義② 「母子保健情報の利活用、その進め方」**

- ・母子保健計画と母子保健情報を結びつけるために
- ・母子保健事業におけるPDCAサイクルの効果的・効率的な進め方  
(地域の把握と優先課題の抽出、整理/指標、目標の設定/評価等の考え方)

11:00~11:10 休憩

11:10~11:55 **事例発表 「効果的な取り組みをしている自治体より」**

事例発表自治体

11:55~12:55 昼休み

福岡:愛知県健康福祉部

12:55~13:40 **講義③ 「母子保健情報の利活用の具体的な手法」**

東京:昭島市(東京都)

大阪:豊橋市(愛知県)

- ・把握している乳幼児健診等の母子保健情報の利活用の実際

13:40~16:00 **グループワーク 「自分の地域の母子保健情報の利活用について考える」**

- ・自分の自治体のデータを用いた情報の把握・分析(データ提出が難しい場合はデモデータ使用)
- ・母子保健情報の利活用の意義、効果的な母子保健事業をすすめるための利活用 等

16:00~ 閉会・解散

《講師》(五十音順・敬称略)

尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学 教授(東京) 《講義②・サブファシリテーター》

篠原 亮次 健康科学大学健康科学部 教授(全会場) 《講義③・サブファシリテーター》

松浦 賢長 福岡県立大学看護学部 教授(福岡) 《講義②・サブファシリテーター》

山縣然太朗 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座 教授(全会場) 《講義①・メインファシリテーター》

山崎 嘉久 あいち小児保健医療総合センター 副センター長・保健センター長(大阪) 《講義②・サブファシリテーター》

● 本研修に関するお問合せ ●

運営事務局:一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

http://www.jfpa.or.jp/ 電話 03-3269-4785 (平日9時~17時・祝日除く。) FAX 03-3267-2658

■ 「母子保健指導者養成研修」特設WEBサイト ⇒ <http://www.jfpa.info/boshi/> ■

お申込みは、特設WEBサイトよりお願いいたします。こちらからもアクセス可能です⇒

